

Hamamas



Sep/ 2010

Now mi stap long Kokopo. Long Kokopo,
I gat planti nature na gutpel a si na
nai spel a kal sa. O semna mi lai ki mtoki m
yupel a long Papua New Gui nea. O sem na
mi meki msampel a toksave long Hamamas.
Sapos yupel a i gat laik long Papua New
Gui nea, bai ni Hamamas. Tenkyu tru.

こんにちは。先日、1週間地方のヘルスセンターに巡回診療に行ってきました。今回はそこでの生活、活動などを含めて報告させていただきます。

●ヘルスセンターまでの道のり

今回のヘルスセンターは町から離れた山奥のヘルスセンターです。車で直接ヘルスセンターに行くことはできません。途中でジャングルに入っていくため、歩いて行かなければなりません。ココポの町から車で3～4時間、その後、山や川を越えて、歩いて4～5時間かかりました。行く途中、道路に大きな穴があり、道路を修復しながら車で進んで行きました。また行きは荷物が重たかったため、ヘルスセンターに着いた時は、クタクタでした。。



道路を修復している所



川を渡ったり、ジャングルの中を歩いている所



●ヘルスセンターでの生活

今回は一週間ヘルスセンターに滞在し、ヘルスセンターの人達と一緒に生活を送りました。ここでは川で洗濯したり、食器を洗ったり、お風呂代わりに川で体を洗ったりしています。私も一緒に川で洗濯し、川で体を洗っていました。山なので水がとても冷たかったです。また飲み水は雨水か川の水を沸かして飲んでいました。ここの人達はタロイも、シンガポーが主食です。またみんなピーナッツが好きです。夜はランプを使っています。そのためかみんな寝るのが早く、朝起きるのはみんな早いです。太陽のリズムに合わせて生活している感じでした。



川で洗濯、食器洗い、お風呂に入っている所



ランプを待っている子供達



現地人の家



左：タロイモ 右：シンガポー



ピーナッツを食べる子供達



ヘルスセンター風景



ヘルスセンターの人達

●ヘルスセンターでの活動

今回のヘルスセンター巡回では、ヘルスセンターのスタッフや周囲に住んでいる人達へのワークショップ、ヘルスセンターでの診療、訪問診療を行ってきました。ワークショップでは実際の患者さんを治療し、運動の必要性を伝えてきました。また運動に関するポスターをヘルスセンターに貼ってもらいました。訪問診療では、ヘルスセンターから1時間くらい離れた村に行ってきました。村には障がい者、膝、腰など痛みをもった患者さんがみえました。今回は徒歩しか移動手段がないため、多くの村を巡回できなかつたのが残念でした。

またこのヘルスセンターには看護師しかいません。そのため患者さんの状態が悪くなったりしてDrの診断が必要な時は、町から車を呼び、担架を使って患者さんを車が来れる所まで運んでいるそうです。ジャングルの中、担架で患者さんを運ぶため、とても大変だとスタッフの方は言っていました。



スタッフ、一般の人達へのワークショップ



訪問診療



ポスターをみにきてくれた人達

(おわりに)

雨が降れば、人もにわとりや動物も雨宿りし雨がやむのを待っています。誰も急ごうとはしません。時間を気にせずゆったりとした生活を送っているなと感じました。今回は地方のヘルスセンターにサービスを届ける事が目的でしたが、私がサービスを届ける以上に、現地の人と一緒に生活をする中で多くの事を教えて頂いた感じがしました。

(20/Sep/2010)

St.Mary's Hospital Vunapope Physiotherapist HIROTAKA YAMAMOTO JICA VOLUNTEER